

櫻守の会

2020年2月1日（通巻249号）

発行：櫻守の会代表 近藤 茂

〒665-0845 宝塚市栄町3-4-10-505

会員数 114名（1月25日現在）

HP：<http://www.sakuramori.net>

2020年2月 “低山に魅せられて”

平山 元哉

櫻守の会に入会したのは2005年ですからもう15年もお世話になったこととなります。大台が近づき足腰にガタのきた昨今は自宅近くのゆずり葉の活動地にたまにしか参加できず、挨拶はいつも“お久しぶり”です。入会したころは亦楽山荘で当時の事務局長だった伊藤さんに伐採や処理の仕方を学びました。年間20回以上？参加したら自分専用のノコをもらえるとあって真面目に通い、今自分が使っているものはその時にいただいたものです。昔の長いのこぎりを使っているのはあんなだけと笑われますが今でも大事に使っています。

どうして櫻守の会に入ったか？それは自然が好きだったからの一言です。リタイヤ前後から山、それも北摂、丹波など近隣の低山に魅せられ、今や登ったというより歩いた山は450山、850回を越えています。山歩きのホームページ「やまぼうしとハナミズキの山歩道」に記録した数なので実際はもっと多いと思います。「山高さがゆえに貴からず樹あるをもって貴しとなす」（実言教）にあるように展望がなくても自然豊かな山が好きなんです。森は、樹の香りに満ち、体に優しく、心のやすらぎを覚えます。

リタイヤ後は自分のためにあるような名前の「シニア自然大学校」に入学し、植物、昆虫、野鳥など生き物や地球環境などについて学びました。学んだから身につくわけではありませんが、毎回シャワーのように浴びせられるとそのうちの一つぐらいは覚えます。おかげで山歩きが何倍も楽しくなりました。この学校は、カルチャーセンターのように知識を身につけるだけではなく、学んだことは世の中の役に立つよう実践することを目的としています。いわゆる環境保全ボランティアを育成することにあるのです。修了はあっても卒業はありませんので、ボランティア活動を続けながら15年間、今も授業料を払いつづけ、仲間との交流を楽しんでいます。学校でいうと小、中、高、大学まで同じクラスで学んだことになり、こんなに長い学生生活はありません。

令和初のお正月、ゆずり葉の森活動地の裏山である行者山へ登って初日を拝し、地元の氏神様宝塚聖天に初詣しました。いつまでも元気で山を歩き、櫻守の会をはじめとしてボランティア活動を続けられることを祈念して。



行者山東観峰から宝塚の風景



亦楽山荘・アラカシにヤママユガの繭

***** 目次 *****

表紙	P1	序文
活動報告	P2～P6	桜の園・亦楽山荘、ゆずり葉の森、青葉台、山手台、武庫山の森
お知らせ・案内	P7～P8	運営委員会報告、武庫川エコハイク、会員消息、会員紹介
活動予定	P8	2月・3月

＜ 活動報告 ＞

桜の園 (亦楽山荘)

坂田 敬

12月28日(土) 晴れ 参加者23名

年内最後の活動日、朝礼の後隔水亭で一年間の無事故感謝を山の神に捧げました。

作業区分	作業場所	作業内容	人数	リーダー
森の整備	桜坂上部	枯れコナラ・赤松伐採、常緑樹除伐	9名	瀧本
伐採	赤松展望所～つつじが丘	ヤシャブシ・枯れ松伐採、常緑樹除伐	9名	濱野
園路整備	周回路(隔水亭～桜坂)	園路上の落ち葉除去、広場整備	5名	加賀野

・ 森の整備 (桜坂上部)

チェーンソーを使用し桜坂内周路に近い枯コナラの大径木2本と、オオノコを使用し斜めになっていたアカマツ1本を伐採した。積極的に常緑樹と繁茂しすぎたモチツツジ伐採を数回継続した結果、林床がとても明るくなった。上部の桜植樹地ともほぼ間伐地域が繋がり、周辺では新たな萌芽が期待できそうである。(瀧本)



隔水亭 一年間の無事故を感謝



桜坂 伐倒した枯れコナラの処理

・ 伐採 (遠見の道)

まず赤松展望所に登り、焚火禁止の看板の再設置と展望所の名札を補修して頂く。前回に引き続き、赤松展望所の横の谷、桜周辺の大きなヤシャブシを伐採、巻き込まれた小さなマツも伐採する。午後は、つつじが丘方向に移動し背の高い枯れマツをチェーンソーを使い伐採、谷の桜周りのヤシャブシ3本を伐採したが、桜の枝への被害もなく作業出来た。赤松植樹地の桜への施肥、伐採木周辺の常緑樹の間伐も同時に行いました。一年の作業が安全に出来たことに感謝しながら、いつもよりも早めに下山しました。(濱野)



赤松展望所 ヤシャブシ伐倒後の処理

・ 園路整備 (周回路・隔水亭～桜坂)

2チームに分かれて作業しました。1チームは親水広場の整備と入り口階段の清掃等を行いました。他チームは隔水亭からエントランス広場に至る内周路(さくらの道)で幾重にも堆積したモミジやコナラ等の落ち葉をブローア、レイキ、箒にて谷側へ吹き出しました。落ち葉の除去には予想以上の時間を要し、もみじの道、どんぐりの道の清掃は次回以降の継続とします。(加賀野)



隔水亭 落ち葉の清掃

1月10日(金) 晴れ 参加者 27名

朝は隔水亭での安全祈願、作業終了後は親水広場での直会で今年も順調にスタートしました。

作業区分	作業場所	作業内容	人数	リーダー
森の整備	桜坂上部	枯れコナラ・アラカシ伐採、常緑樹除伐	9名	濱野
伐採	赤松展望所～つつじが丘	密集ヤシャブシの伐採、ヒサカキの除伐	11名	吉田
園路整備	隔水亭～城ヶ丘～園入口	園路上の落ち葉除去、広場整備	5名	加賀野
広場整備	親水広場周辺	広場の清掃等	2名	—

・ 森の整備 (桜坂上部)

まず、アラカシに隠れていた大きな枯れコナラをチルホールを用いて計画方向に伐採する。次に、大きなアラカシをこれもチルホールを用いて伐採、この枝葉処理に午前中かかってしまう。午後は、傾斜の大きな谷にある大きなアラカシ、下部のコナラに掛らないと判断し、チェーンソーで伐採するが右側の枝がコナラに掛ってしまう。この処理にチルホールを用いるが、重量があり動かず、胴切りを加え何度か場所を変え引きずり下ろした為に時間がかかり、枝葉処理は次回に持ち越した。同時に付近の常緑樹の間伐も行った。また、このチルホールけん引作業中の反動でけがを発生させてしまった。作業後、安全作業の徹底を再度図りました。(濱野)



隔水亭 安全祈願

・ 伐採 (赤松展望所～つつじが丘)

赤松植樹地から少し入った所の園路谷側の雑木が密集している付近で、中木ヤシャブシ6本伐採しました。その内3本は隣接するサクラうまく避けながらの作業でした。又、ヒサカキ等の常緑を除伐して見通し良くしました。(吉田)



桜坂 伐倒アラカシの枝葉処理

・ 園路整備 (隔水亭～城ヶ丘～園入口)

ブロアーとレーキ、箒で隔水亭広場と階段の清掃から作業を開始しました。城ヶ丘広場までの内周路では前回(12/28)のさくらの道に比べ路が狭く、落ち葉の除去は簡単に進みました。しかし城ヶ丘広場では一面に、大きいものでは30cm以上もある朴葉が無数に散乱しており、ブロアーで広場外まで吹き飛ばすことは非常に困難で、どうするか思案しましたが良案もなく、全員がレーキ、箒及び素手で掻き集め崖下へ投げました。この作業には約2時間かかってしまいました。その後どんぐり、もみじ両路の階段の滑り易く危険な箇所落ち葉の除去も比較的簡単に進み終礼までに予定範囲全ての清掃が終了しました。(加賀野)



落ち葉を除去した周回路

1月16日(木) 曇り 参加者 25名 (内体験参加者2名)

作業区分	作業場所	作業内容	人数	リーダー
森の整備	桜坂上部	枯れコナラ・アラカシ伐採、常緑樹除伐	13名	濱野
伐採	赤松展望所～つつじが丘	密集ヤシャブシ伐採、ヒサカキ除伐	7名	瀧本
園路整備	滝見の道、満月滝	滝つぼ整備、園路補修	3名	坂田
広場整備	親水広場周辺	広場の清掃等	2名	

・ 森の整備 (桜坂上部)

まず前回の継続作業アラカシの枝葉処理を行う。次に、大きなヤブツバキの常緑を伐採しその枝葉処理を行う。大きなアラカシの横のつる植物(テイカカズラ?)に絡まれたカキノキを伐採するが、つる

が巻き付いて宙に浮いてしまう。ロープで引きづるもビクともせず、午後からチルホールを持ってきて、安全第一に慎重に引きずり下ろす。上部に大きく茂っていたアラカシをチェーンソーを用いて伐採、先端が前のコナラに掛りそうになるが、自重により下に落とすことが出来た。この大木の枝葉処理を全員の協力により、何とか時間内に処理できた。(濱野)

・ 伐 採 (赤松展望所～つつじが丘)

暑くもなく、寒くもない絶好の作業日和で、チェーンソーを用いヤシヤブシ5本、枯れ松1本、落葉樹1本を伐採した。最初に伐採したヤシヤブシはアオハダに掛かり木になったが、下部を玉切りにして落としたり、ロープで引っ張り出したりして、苦労しながらも何とか2本のアオハダを傷つけずに残すことができた。最後に伐採した40～50cm はあろうかという大径のヤシヤブシは斬り倒しただけで作業終了時間となり、処理は次回にまわした。(瀧本)

・ 園路整備 (滝見の道、満月滝)

満月滝へ直行し滝つぼで流木を数本取り除いたが、他は土砂に埋まっていたり巨岩が乗っていたりして動かせず、ほとんど手を付けられなかった。滝道で朽ちた階段の横木を数か所補修、滝見の道の急こう配の部分で新たに階段を数か所設置した。(坂田)



桜坂 常緑樹間伐



赤松道 ヤシヤブシ伐倒後の処理

ゆずり葉の森

上田 威

1月14日(火) 晴後曇り 参加者23名

白瀬川広場のご神木へ安全祈願をして、4班に分かれて作業を行った。

1班3名は白瀬川広場で2個のベンチの組み立て/据付けと広場一帯の落葉かきを実施。

2班7名は①西山堰堤～コバノミツバツツジの丘一帯の枯れコナラ6本と枯れ松4本を伐採。チルホールでの作業を必要とする枯れ松と枯れコナラ各1本は次回の作業に持ち越した。

3班11名は先月に引き続きどんぐりの丘で株立ちし過ぎた、又は枝のはびこりし過ぎたウバメガシ等の常緑樹を中心に除伐と枝の剪定を行った。

4班2名は今年の活動内容検討の為に園内の主要ルートを歩き現状調査をした。全ての作業を1時半に終え、ささやかな新年会に移行。終了後は三々五々会場を後にした。



白瀬川広場でベンチの設置と整備



常緑樹の除伐と枝剪定後のどんぐりの丘

12月26日(木) 曇り時々小雨 参加者8名

霧雨の中での作業となりました。前回準備したホダ木を搬出場所に移動後に二班に分かれて作業。一班2名は継続中の湧水路脇の土留め作業に加えて、階段を含む園路の整備、倉庫周辺の落葉処分などを行った。二班6名は光が丘ルート三の谷と二の谷一帯の枯れ落ちたコナラの枝の処分、枯れ松伐採、傾斜したソヨゴの伐採処理などを行った。砂礫質で傾斜の急な斜面での作業では体力の消耗も激しく、2時半頃に作業を終え、通常以上に疲れた様子で集合場所への帰還となった。



湧水路脇の土留め工事



斜面での常緑樹の伐採と処理

(ホダ木は逆瀬台小学校には12月4日に、美座小学校には1月17日に搬入完了した。)

1月21日(火) 晴れ後曇り 参加者25名

山手台では今年最初の活動日。最初に全員でご神木桜の前で「安全祈願」。作業は3班に分かれ桜の移植・枯れ木処理・森の間伐などの作業を行った。

1. 南斜面での桜の移植 (9名)

先月掘り起し途中のヤマザクラの日陰になっていたササバザクラ1本と集合広場にあったもう1本のササバザクラを斜面下部に並べて移植した。斜面の桜はかなり大きかったため運搬に苦労したが無事終了。午後は、児童館から依頼された同敷地内の枯れ松2本を伐採処理したが、時間がなく3本が未処理となった。

2. 中川大橋左岸上部の整備 (8名)

中川大橋左岸上部住宅地沿いに早咲きの見事な桜がある。この桜を隠している株立ちのアラカシを伐採し、ヤマモモの枝を高枝ノコで伐採し、一部ササも刈って見通しがよくなった。また周辺の枯れ松3本を伐採し、常緑のヤマモモやソヨゴの伐採・剪定・除伐を行った。

3. アジサイロード両脇の整備 (8名)

アジサイロード下方両脇斜面で、ササやアラカシ等の常緑低木を伐採し、枯れ木3本も伐採した。また直径40cm強の枯れコナラの倒木をチェーンソーを使って玉切り処理をした。その結果アジサイロード両脇部がすっきりした。ただし倒木コナラの根元部は安定しておりかつ大きすぎるので動かさないことにした。



南斜面 移植した2本のササバザクラ



山手台住宅地沿い ヤマザクラ周囲の除伐中



アジサイロード 倒木コナラの根元部

1月5日(日) 晴 参加者 27名

本年初活動日、広場前の大桜に安全祈願を行ってから作業を始めた。年明けから暖かい日が続いていたが、この日は少し冷えて作業中に時雨もある作業となった。作業終了後はお神酒の御下がりをしていただき、ささやかな新年会を行った。

1. 連絡道の下側斜面の整備 (継続) (7名)

連絡道の下側斜面と宝松苑ルート沿いの、ヒサカキ、アオキ、トウネズミモチ、ヤブニッケイなど常緑樹の処理をした。崩れやすい真砂土の急斜面で、切った木を土留めに活用しながら作業をした。連絡道沿いは綺麗になったが、宝松苑ルート側がまだ常緑樹が混みあっているため次回以降も継続。



今年も安全第一で

2. 南谷堰堤の上流右岸の整備 (9名)

南谷堰堤から上流に向かって、宝松苑ルートと谷の間のヒサカキ、アラカシ、ヤブニッケイなどの常緑樹を除伐して回った。大鋸使用は株立ちソヨゴ2本ぐらいで、後は手鋸で、急斜面での地味な作業になった。下流部はすっきりし谷間も見られるようになったが上流部が残ったので次回も。



南谷堰堤上で常緑樹除伐

3. 連絡道下、東側の尾根北側の森の整備 (継続) (7名)

数回作業を続けてきた場所で、かなりの部分は除伐が終わっていた。更に斜面下方に向けて作業したが、シダ・アオキ等の繁茂が激しい範囲が広く本日の作業としては断念。昼食後は連絡道上部斜面に移り、常緑樹を除伐した。

4. 花壇及び広場の整備 4名

1月18日(土) 晴 参加者 18名

少し風が強いながら冬晴れのなか18名が集まった。

1. 宝松苑ルート上部のヤシャブシの伐採 (12名)

大桜3号周辺の三又ヤシャブシの大木2本を処理した。午前中は1本目をチルホールを使用して倒し、細めの2本目はそのまま倒して処理した。3本目を倒した際に計画より右にズレて倒れたため、ウラジロノキを巻き添えにしてしまい、大木処理の難しさを改めて勉強した。午後からはヤシャブシとウラジロノキを処理して早めに作業を終えた。次回も残りの処理を継続。



ヤシャブシの大木を処理

2. 南谷堰堤の上流右岸の整備 (継続) (6名)

前回とは逆に今回は、目標地点の伐採した大コナラの株周辺から下流/東へ向かって整備した。大きく盛り上がっていたコナラ伐採の巻添えのカナメモチ他の枝葉を処理し、見通しを悪くしているヒサカキ、カナメモチ、アオキなど常緑樹を除伐した。ルートから南谷の北側対面もすっきり見えるようになった。谷に向かってリョウブ、カナメモチ、ソヨゴなどの倒木(一昨年の台風か、下を向いているがまだ生きている)や枯マツ倒木が折り重なって乱れているのを整理した。宙に浮いていたのを急斜面におろしたので崖の崩落も防げるだろう。今回で終了。



南谷堰堤上部倒木処理

< お知らせ ・ 案内 >

運営委員会報告 (12 月度)

代表 近藤 茂

日時：2019 年 12 月 25 日 (木) 10:30～12:30

場所：ぷらごこむ 1 25A 会議室

(議題)

- ① 報告事項：ゆずり葉の森と青葉台地区の活動代表幹事の交代
上田威さんから加賀野久生さんに 2020 年 3 月より
- ② 2020 年度活動カレンダー：各活動担当者からの提案を取り入れて決定した。2 月末に全会員に印刷したカレンダーを送付する。
- ③ 用具支給品規定：実態に合わせた内容に変更した。支給された鋸、剪定鋏などの用具が損傷または作業中に紛失した場合は、運営委員に申し出て新たに提供を受けてください。
- ④ 環境体験学習支援活動の内容：現在当会は市内の 3 小学校に環境体験学習支援を行っているが、環境体験学習の実施要項の詳細（行政が期待している子供たちに教える内容など）を確認して、必要ならば次月度以後の運営委員会で議論する。
- ⑤ 会報スタイルの見直し（継続審議）… 今月度は時間の関係で十分に議論できなかった。

武庫川エコハイク第 152 回「甲山神呪寺八十八ヶ所巡り」

エコグループ・武庫川

今回は六甲山の東、甲山の大部分とその山麓に広がる森林公園、明治百年・兵庫県百年を記念して出来ました。その甲山周辺の歴史を訪ねます。

日時：2020 年 2 月 8 日 (土)

雨天中止

集合：阪急電鉄「逆瀬川駅」改札口前

9 時 30 分

(阪急バス「西高前」行き 9:34・「エデンの園」行き 9:46 発乗車、西高前下車)

ルート：阪急逆瀬川駅前(バス)…宝塚西高前(バス停)～ゆずり葉緑地公園～西宮・宝塚ゴルフ場境界道～仁川河原～甲山橋～森林公園シンボルゾーン～四国 1 番石像 (88 ヶ所巡り)～88 番石像「神呪寺」～阪急甲陽園駅

解散：15 時 20 分頃 阪急甲陽園駅 (約 9km・一般向き)

参加費：100 円 (保険代、資料代)

申込み：不要 (当日集合場所にお越しください)

持ち物：弁当、飲み物、雨具

服装：山歩きできる服装、滑りにくい靴

*お問合せ：エコグループ・武庫川 携帯 090-7763-6763 (上田)

主催：エコグループ・武庫川 後援：兵庫県 (自然環境保全)

URL：<http://ecomukogawa.web.fc2.com/> (武庫川エコハイクで検索)

会員消息

事務局

入会 豊田 修巳 さん

今後ともよろしくお願ひします。

< 会 員 紹 介 >

阪口 潤一 さん

昨年9月に入会しました阪口潤一です。団塊の世代の最終組で昨年古希を迎えました。一昨年6月に退職しましたがそれまで約20年単身赴任生活が続いていましたので、これからは地元宝塚で友人を増やせればと昨年4月に阪神シニアカレッジの園芸学科に入りました。その時クラブ活動で入った山登り同好会でTさんから櫻守の会の活動を紹介いただきました。桜の園はここ数年桜の季節に訪れていましたし、大型台風や豪雨による山の荒廃が気になっていましたので、里山保全活動に自分も関わらたらいいなあと思いました。実はボランティア活動は私にとって生まれて初めての経験で、いい加減な気持ちで取り組んではいけないと自分なりにハードルを高くしていたところがありましたが、「ボランティアは人の為にするのではない、自分の為にするのだ」という話をお聞きし、自分なりに腑に落ちて入会する事に致しました。まだまだ活動内容も十分把握しておらず皆さんの足手まといになっていますが、作業を通じて自然の逞しさを実感し、自然への畏敬の念を覚えながらこれからも楽しく櫻守の会の活動をやっていきたいと思っています。今後とも宜しくお願い致します。

< 活 動 予 定 (2 月 ・ 3 月) >

月別行事予定表

2月	場所等	3月	場所等
2月2日(日)	武庫山の森	3月1日(日)	武庫山の森
2月4日(火)	逆瀬台小 環境学習	3月6日(金)	桜の園・亦楽山荘
2月7日(金)	桜の園・亦楽山荘	3月10日(火)	ゆずり葉の森
2月10日(月)	ゆずり葉の森	3月17日(火)	山手台
2月12日(水)	桜の園・亦楽山荘	3月19日(木)	桜の園・亦楽山荘
2月15日(土)	武庫山の森	3月21日(土)	武庫山の森
2月17日(月)	美座小 環境学習	3月25日(水)	青葉台
2月18日(火)	山手台	3月28日(土)	桜の園・亦楽山荘
2月21日(金)	逆瀬台小 環境学習(予備)	3月30日(月)	会報印刷(ぷらざこむ)
2月22日(土)	桜の園・亦楽山荘		
2月26日(水)	美座小 環境学習(予備)		
2月27日(木)	青葉台		
2月29日(土)	会報印刷(ぷらざこむ)		

集合時間 : 桜の園・亦楽山荘 親水広場9時50分、武庫山の森 9時50分

他の3活動地は9時30分。

天候 : 当日朝6時55分 NHK TV天気予報で、兵庫県南部の午前・午後いずれかでも降水確率60%以上の時は中止します。

< 編集後記 > 最近、中国で新型コロナウイルスによる肺炎が広がっている問題が大きく取り上げられています。また感染者が日本で3人など、武漢市に滞在されていた人の訪問者または帰還者から確認されており、各国政府が対策を進めています。外出から帰った時などの手洗いやうがい予防対策として有効とのこと。皆様も励行されることをお勧めします。(加賀野)